

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

関西大学システム理工学部数学科

2014年11月1日(土)

福岡大学, 福岡大学微分幾何研究会

(佐々木武氏 (神戸大学), 古畑仁氏 (北海道大学) との共同研究)

内容

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

① 序

② 射影曲面

③ アファイン超曲面はめ込み

④ 展開可能曲面

⑤ 余次元 2 の中心アファインはめ込み

⑥ 簡約定理

射影超曲面と余次元2の中心アファインはめ込み

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元2の中心アファインはめ込み

簡約定理

射影超曲面: $(n+1)$ 次元実射影空間内の n 次元部分多様体
↪ 局所的に $(n+2)$ 次元アファイン空間へ持ち上げる
↪ 余次元2の中心アファインはめ込みを考える

↕

- 原点を固定しておく
- 横断的ベクトル場の1つは位置ベクトル場
- もう1つは?
 - 「前正規化された」横断的ベクトル場を用いる (K. Nomizu-T. Sasaki 1993)

問題

射影超曲面

↕?

余次元2の中心アファインはめ込み

射影曲面と対称2形式

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

簡約定理

\mathbf{P}^3 : 3次元実射影空間

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 射影曲面

(x, y) : 局所座標

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

\mathbf{R}^4 への写像ともみなす

仮定: z_{xy}, z_x, z_y, z は M 上 1 次独立

$$\begin{cases} z_{xx} = lz_{xy} + az_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = mz_{xy} + cz_x + dz_y + qz \end{cases}$$

と表すことができる

対称 2 形式:

$$\psi := ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$$

射影曲面と Euclid 空間内の曲面

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 射影曲面

$$z(x, y) = [z^1(x, y), z^2(x, y), z^3(x, y), z^4(x, y)]$$

$\psi = ldx^2 + 2dxdy + mdy^2$: 対称 2 形式

z は \mathbf{R}^3 内の曲面と対応する

$z^1 \neq 0$ のとき

$$\hat{z} := \left(\frac{z^2}{z^1}, \frac{z^3}{z^1}, \frac{z^4}{z^1} \right)$$

命題

ψ は \mathbf{R}^3 内の曲面 \hat{z} の第二基本形式と共形的

↪ 不定値なものを考えることができる

↪ 漸近線座標を選ぶことができる:

$$l = m = 0$$

積分可能条件

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

命題

不定値射影曲面に対する積分可能条件は

$$\begin{cases} L_y = -2bc_x - cb_x \\ M_x = -2cb_y - bc_y \\ bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = cL_x + 2Lc_x + c_{xxx} \end{cases}$$

ただし

$$a = \theta_x, \quad d = \theta_y$$

$$\begin{cases} L = \theta_{xx} - \frac{1}{2}\theta_x^2 - b\theta_y - b_y - 2p \\ M = \theta_{yy} - \frac{1}{2}\theta_y^2 - c\theta_x - c_x - 2q \end{cases}$$

正準系

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

簡約定理

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 不定値射影曲面

(x, y) : 漸近線座標

$$\begin{cases} z_{xx} = \theta_x z_x + bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + \theta_y z_y + qz \end{cases}$$

$\lambda : M \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}$

$z = \lambda w$ とおくと

$$z_x = \lambda_x w + \lambda w_x, \quad z_{xx} = \lambda_{xx} w + 2\lambda_x w_x + \lambda w_{xx}$$

$\lambda = e^{\frac{\theta}{2}}$ とすると

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases}$$

としてよい (正準系)

座標変換

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

正準系に対して座標変換

$$u = f(x), \quad v = g(y)$$

を考える

$$\lambda : M \rightarrow \mathbf{R} \setminus \{0\}$$

$$z = \lambda w \text{ とおくと}$$

$$z_x = \lambda_x w + \lambda w_u f', \quad z_{xx} = \lambda_{xx} w + 2\lambda_x w_u f' + \lambda w_{uu} (f')^2 + \lambda w_u f''$$

$$C \in \mathbf{R} \setminus \{0\}$$

$$z = \frac{C}{\sqrt{f'g'}} w \text{ とおくと正準系}$$

$$\begin{cases} w_{uu} = \bar{b}w_v + \bar{p}w \\ w_{vv} = \bar{c}w_u + \bar{q}w \end{cases}$$

を得る

変換則, 射影計量, Darboux 3 次形式

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

簡約定理

命題

$$\bar{b} = b \frac{g'}{(f')^2}, \quad \bar{p} = \frac{1}{(f')^2} \left(p - \frac{1}{2} b \frac{g''}{g'} + \{f; x\} \right)$$

$$\bar{c} = c \frac{f'}{(g')^2}, \quad \bar{q} = \frac{1}{(g')^2} \left(q - \frac{1}{2} c \frac{f''}{f'} + \{g; y\} \right)$$

ただし $\{f; x\}, \{g; y\}$ はそれぞれ f, g の Schwarz 微分:

$$\{f; x\} := \frac{1}{2} \left(\frac{f''}{f'} \right)' - \frac{1}{4} \left(\frac{f''}{f'} \right)^2 = \frac{1}{2} \frac{f'''}{f'} - \frac{3}{4} \left(\frac{f''}{f'} \right)^2$$

系

- $bcdxdy$ は不変量 (射影計量)
- $bdx^3 + cdy^3$ の共形類は不変量 (Darboux 3 次形式)

Darboux 3 次形式, 射影計量が消える場合

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

- $b = c = 0$ と仮定する
積分可能条件より

$$p_y = 0, q_x = 0$$

$f_1(x), f_2(x): f_{xx} = p(x)f$ の 1 次独立な解

$g_1(y), g_2(y): g_{yy} = q(y)g$ の 1 次独立な解

このとき

$$z = [f_1g_1, f_1g_2, f_2g_1, f_2g_2] \quad (2 \text{ 次曲面})$$

- $c = 0$ と仮定する
積分可能条件より

$$(-b_y - 2p)_y = 0, (-2q)_x = 0, bM_y + 2Mb_y + b_{yyy} = 0$$

変換則より $q = 0$ としてよい

更に計算すると

$$z = A(x) + yB(x) \quad (\text{線織面})$$

基本方程式

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$F: M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+1}$: 超曲面はめ込み

ξ : F に沿うベクトル場

(F, ξ) : アファイン超曲面はめ込み

\Updownarrow def.

$$\forall x \in M, \xi(x) \in F_* T_x M$$

D : \mathbf{R}^{n+1} の標準平坦接続

$X, Y \in \mathfrak{X}(M)$

\implies 基本方程式:

$$\begin{cases} D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y)\xi \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X)\xi \end{cases}$$

(ξ : 横断的ベクトル場, ∇ : 誘導接続, h : アファイン基本形式)
(S : アファイン型作用素, τ : 横断的接続形式)

基本的性質, 等積はめ込み, Blaschke はめ込み

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフィン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフィンはめ込み

簡約定理

命題

- ∇ は捩れをもたないアフィン接続
 - h は対称テンソル
 - ω : D に関して平行な体積要素
 θ : はめ込みの誘導する体積要素
- $$\theta(X_1, \dots, X_n) = \omega(F_*X_1, \dots, F_*X_n, \xi) \quad (X_1, \dots, X_n \in \mathfrak{X}(M))$$
- $$\implies \nabla_X \theta = \tau(X)\theta$$

命題

- h は非退化であると仮定する (ξ の選び方に依存しない)
- $\exists \xi$ s.t. $\tau = 0$ (等積はめ込み)
 - ω_h : h に関する体積要素
- $$\implies \exists \xi$$
- s.t.
- $\tau = 0$
- かつ
- $\omega_h = \theta$
- (Blaschke はめ込み)
-
- (符号を除いて一意)

アフライン超球面

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

簡約定理

$F : M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+1}$: Blaschke はめ込み

S : アフライン型作用素

F : アフライン超球面

\Updownarrow def.

S : スカラー作用素

- $S \neq 0$ のとき固有, $S \equiv 0$ のとき非固有
- 2次超曲面はアフライン超球面
- 固有アフライン球面: Tzitzeica 方程式などに対応

$$\varphi_{xy} = e^{2\varphi} + e^{-\varphi}$$

- 非固有アフライン球面: Liouville 方程式などに対応

$$\varphi_{xy} = e^{2\varphi}$$

射影空間内のアフィン球面

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフィン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフィンはめ込み

簡約定理

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 不定値射影曲面

z : アフィン球面

\Updownarrow def.

\exists アフィン球面に対応する \mathbf{R}^3 内の曲面

正準系を考える

$$\begin{cases} z_{xx} = bz_y + pz \\ z_{yy} = cz_x + qz \end{cases}$$

$$z = [e^{\frac{\varphi}{2}}, e^{\frac{\varphi}{2}} F] \quad (\varphi : M \rightarrow \mathbf{R}, F : M \rightarrow \mathbf{R}^3)$$

命題

$$z: \text{アフィン球面} \iff \exists k \in \mathbf{R} \text{ s.t. } \varphi_{xy} = bc + ke^{-\varphi}$$

特に

$$F: \text{固有アフィン球面} \iff k \neq 0$$

展開可能性

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$z: M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 不定値射影曲面
正準系で表しておく

z : 展開可能

\Updownarrow def.

$z: b, c$ を保ったまま変形可能

線織面は展開可能

z が線織面ではない展開可能曲面であると仮定する
 p, q がそれぞれ

$$\bar{p} = p + \lambda, \quad \bar{q} = q + \mu$$

と変形できるとする
積分可能条件より

$$\lambda_y = 0, \quad \mu_x = 0, \quad b\mu_y + 2\mu b_y = c\lambda_x + 2\lambda c_x$$

λ, μ は高々3つの径数を用いて表されることが分かる

非固有アファイン球面の場合

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

線織面ではない場合は $k = 0$ または $k \neq 0$ は不変
線織面ではない展開可能な非固有アファイン球面を考える

$$k = 0, b = c = e^\varphi, \varphi_{xy} = e^{2\varphi}$$

としてよい
このとき

$$\varphi = \frac{1}{2} \log \frac{f'g'}{(f(x) + g(y))^2}$$

更に計算すると

$$\begin{cases} \bar{p} = \frac{1}{2}\varphi_{xx} + \frac{1}{4}\varphi_x^2 - \frac{1}{2}\varphi_y e^\varphi + \frac{c_1 f^2 + c_2 f + c_3}{f'} \\ \bar{q} = \frac{1}{2}\varphi_{yy} + \frac{1}{4}\varphi_y^2 - \frac{1}{2}\varphi_x e^\varphi + \frac{c_1 g^2 - c_2 g + c_3}{g'} \end{cases}$$

$(c_1, c_2, c_3 \in \mathbf{R})$

非固有アファイン球面となるのは $c_1 = c_2 = c_3 = 0$ のとき

固有アファイン球面の場合

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

線織面ではない展開可能な固有アファイン球面を考える

$$k \neq 0, b = c = e^\varphi, \varphi_{xy} = e^{2\varphi} + ke^{-\varphi}$$

としてよい

このとき

$$\mu_y + 2\mu\varphi_y = \lambda_x + 2\lambda\varphi_x$$

簡単のため λ, μ が独立な場合を考える

φ は定数となることが分かる

$$b = c = 1, \varphi = 0$$

としてよい

このとき

$$\bar{p} = c_1x + c_2, \bar{q} = c_1y + c_3 \quad (c_1, c_2, c_3 \in \mathbf{R}) \quad (\text{一致曲面})$$

特に $c_1 = c_2 = c_3 = 0$ のとき

$$F = (X, Y, Z), (X^2 + Y^2)Z = 1$$

基本方程式

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$F : M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+2}$: 余次元 2 の中心アファインはめ込み

$$\eta := \sum_{i=1}^{n+2} x_i \frac{\partial}{\partial x_i} \quad (\text{位置ベクトル場})$$

$$\forall x \in M, \eta_{F(x)} \pitchfork F_* T_x M$$

ξ : F に沿うベクトル場 s.t.

$$\forall x \in M, \xi(x) \pitchfork (\langle \eta_{F(x)} \rangle_{\mathbf{R}} \oplus F_* T_x M)$$

D : \mathbf{R}^{n+2} の標準平坦接続

$X, Y \in \mathfrak{X}(M)$

\implies 基本方程式:

$$\begin{cases} D_X \eta = F_* X \\ D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y) \xi + T(X, Y) \eta \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X) \xi + \rho(X) \eta \end{cases}$$

基本的な性質と簡約定理

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

命題

- ∇ は捩れをもたないアファイン接続
- h, T は対称テンソル
- $\omega: D$ に関して平行な体積要素

$$\theta(X_1, \dots, X_n) := \omega(F_*X_1, \dots, F_*X_n, \xi, \eta) \\ (X_1, \dots, X_n \in \mathfrak{X}(M))$$

$$\implies \nabla_X \theta = \tau(X)\theta$$

定理 (K. Nomizu-T. Sasaki 1993)

- $\text{rank } h \geq 2$
 $T = \exists \lambda h \iff F(M) \subset \exists \text{ アファイン超平面}$
- $h \equiv 0, n \geq 2$
 $\implies F(M) \subset \exists 0 \text{ を通るアファイン超平面}$

等積はめ込み, Blaschke はめ込み, 前正規化

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$F : M^n \rightarrow \mathbf{R}^{n+2}$: 余次元 2 の中心アファインはめ込み

$$\begin{cases} D_X \eta = F_* X \\ D_X F_* Y = F_* \nabla_X Y + h(X, Y) \xi + T(X, Y) \eta \\ D_X \xi = -F_* S X + \tau(X) \xi + \rho(X) \eta \end{cases}$$

命題

h は非退化であると仮定する (ξ の選び方に依存しない)

- $\exists \xi$ s.t. (i): $\tau = 0$ (等積はめ込み)
- ω_h : h に関する体積要素
 $\implies \exists \xi$ s.t. (i) かつ (ii): $\omega_h = \theta$ (Blaschke はめ込み)
(η 方向と符号を除いて一意)
- $\exists \xi$ s.t. (i), (ii) かつ $\text{tr}_h((X, Y) \mapsto T(X, Y) + h(SX, Y)) = 0$
(前正規化された Blaschke はめ込み)
(符号を除いて一意)

主定理

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アファイン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アファインはめ込み

簡約定理

$z : M \rightarrow \mathbf{P}^3$: 不定値射影曲面

$F : M \rightarrow \mathbf{R}^4$: 前正規化された Blaschke はめ込みとしての z の持ち上げ

Ric: ∇ に関する Ricci テンソル

次の Einstein 条件を考える:

$$\text{Ric} = kh \quad (k \in \mathbf{R})$$

定理 (F.-H. Furuhashi-T. Sasaki)

F : Einstein 条件をみたす



z : アファイン球面またはアファイン球面に展開可能

アファイン球面の前正規化された Blaschke はめ込みによる像は 0 を通らないアファイン平面に含まれる

射影曲面の持ち上げと簡約定理

藤岡敦

内容

序

射影曲面

アフライン超曲面はめ込み

展開可能曲面

余次元 2 の中心アフラインはめ込み

簡約定理

ご清聴ありがとうございました